

令和4年8月22日開催

次世代支援・教育力向上特別委員会

委員長報告

令和4年9月定例会

委員長 稲川和成

去る8月22日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「子ども発達相談センターの運営状況について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

本センターは、令和2年4月20日に開設され、子どもの発達に不安を持つ保護者が相談先に迷うことなく相談できることや、福祉、教育、保健及び医療が連携し、切れ目のない支援等により、児童の福祉の向上を図ることを目的としているとのこと。

また、本センターにおける相談事業については、発達相談のほか、医療相談、専門相談を行い、状況に応じて関係機関につないでいるとのこと。

支援事業及び環境整備事業については、集団で親子の遊びや体験の場を提供することで、保護者が子どもへの関わり方を知る親子教室のほか、子どもが発達の特性に適した支援を受けられるよう、支援方法を助言する小学校1年生訪問等を実施しているとのこと。

今後については、どの親子も安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、引き続き、切れ目のない支援に向け、関係機関と十分な連携を図っていくとのことでありました。

以上のような説明に対して、本センター開設に伴う新たな取り組みによる成果について問われ、これに対して、小学校1年生訪問の実施により、支援を必要とする子どもに関する就学前の情報の共有を、本センターと学校でより円滑に行えるようになったとのことでありました。

このほか、巡回支援事業にかかわり、保育士等に対する支援の内容について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の2「学校施設の整備の状況について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

中学校体育館空調機設置事業については、夏季の部活動などで体育館の空調機を有効活用するとともに、災害時の防災拠点としての機能向上を図るため、令和2年度から令和4年度にかけて、中学校26校に体育館の面積に応じた空調機を設置するものであるとのこと。

また、中学校夜間学級新校舎建設事業については、平成31年4月に旧県陽高等学校敷地内に開校した芝西中学校陽春分校の新校舎を、令和6年4月の開設に向け、旧芝園小学校敷地内に令和4年10月から令和6年2月までの期間、建設費約11億8,000万円の予算で建設するとのことでありました。

以上のような説明に対して、旧県陽高等学校の跡地の利活用について問われ、これに対して、売却を前提とした利活用について、関係部局と連携し取り組んで

いくとのことでありました。

このほか、体育館空調機の運用基準について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の3「いじめ根絶に向けた取り組み状況について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

令和3年度川口市いじめから子どもを守る委員会活動状況については、相談業務を10回、調査・調整活動を2回、定例会を12回行なったほか、教職員のいじめ問題対応能力向上を図るため、委員と教職員との交流会を2回開催し、講義及び意見交換を行なったとのこと。

また、いじめ根絶に向けた取り組みとして、いじめ対応の質の向上を図るため、未然防止策、成果のあった事例、課題のあった事例を集約した、いじめ対応事例集の作成を進めており、令和4年12月の完成を予定しているとのこと。

さらに、生徒指導担当指導主事の学校訪問により、各学校のニーズに応じた研修の実施や、いじめ対応等に関する指導・助言を行なっているほか、令和4年7月には、いじめ問題対策協議会及びいじめゼロサミットを開催したとのこと。

いじめ問題に関する調査状況については、9事案について報告があり、3事案において、いじめ問題調査委員会が設置され、このうち1事案は終結し、1事案は最終報告書案の作成まで進んでいるものの、1事案は現在も調査継続中であるとのこと。残る6事案のうち5事案は、保護者からいじめ問題調査委員会の設置を希望しない旨の回答があり、1事案については調査を保留しているとのことでありました。

以上のような説明に対して、いじめ被害を受けた児童生徒の転出先の学校における状況の把握について問われ、これに対して、市教育委員会が転出先の学校での状況を把握し、前籍校へ情報を提供しているとのことでありました。

このほか、いじめ対応についての交流会における参加対象者について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

以上で報告を終わります。